

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都板橋区前野町4丁目40-1
園名	保育スクール よつばのクローバー

1. 活動のテーマ

<テーマ>

五感

<テーマの設定理由>

言語教育に強みをもつ園の図鑑・絵本の豊富さを活かし、0～2歳児が自然物を五感で味わい、言語化につなげる体験を中心に据える。季節ごとの動植物や風・光・香り・味などを、目で見て、手で触れ、耳で聴き、肌で感じる経験を通して、子どもたちが感じたことを自分のことばで表現できるよう支援する。表現を受け止め、さらに問いかけて考えを深め、絵本や図鑑で得た知識と実物体験をつなぐことで、言語と感覚の両面から学びを広げる。

<テーマに関する子どもの興味関心・園の特色など>

感覚の土台が育つ0～2歳児に特化。子どもたちの五感を刺激する探究活動をテーマとして行う。言語教育に強みを持つ園の特色を活かし、子どもたちの目線で感じたことを言葉で表現する支援を行う。

2. 活動スケジュール(全15回)

1	11月	7日	春夏秋冬の導入、ヒヤシンスの紹介、球根の比較
2		14日	春夏秋冬の復習、ヒヤシンスの成長観察(根の変化)
3		20日	ヒヤシンスの成長観察(根の変化) 絵本「ひやしんす」ダイアロジックリーディング
4	12月	5日	春夏秋冬の復習、ヒヤシンスの成長観察(芽の観察①)
5		12日	ヒヤシンスの成長観察(芽の観察②)
6		19日	ヒヤシンスの成長観察(芽の観察③)
7	1月	9日	春夏秋冬の復習、ヒヤシンスの成長観察(葉の観察①)

8		16日	ヒヤシンスの成長観察(葉の観察②)
9		22日	ヒヤシンスの成長観察(葉の観察③)
10	2月	6日	ヒヤシンスの成長観察(つぼみの観察①)
11		13日	ヒヤシンスの成長観察(つぼみの観察②)
12		20日	ヒヤシンスの成長観察(つぼみの観察③)
13		27日	ヒヤシンスの成長観察(花の観察①)
14	3月	6日	ヒヤシンスの成長観察(花の観察②)
15		13日	まとめ、振り返り



3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・フラッシュカード(色、春夏秋冬、四季、季節感、ヒヤシンス、国旗カード)
- ・ヒヤシンスの球根
- ・水耕栽培用の花瓶
- ・絵本、図鑑
- ・虫眼鏡
- ・大人と子ども、子ども同士で観察し、対話するために適切な時間と場所の設定

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

	実施日	活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり、保育者の振り返り
1	11/7	季節の変化について。「11月になったね」と声をかけると、3歳の男の子が元気に「あき！」子どもたちも秋を感じている様子。春夏秋冬、一年の流れをフラッシュカードを使い先生が説明。「春になると、花がたくさん咲くよ。秋の今、お花は「赤ちゃん」です」と伝えると「お花の赤ちゃん!？」と興味津々の子どもたち。5つの球根を見せると、微かな色の違い、大きさの違いに気づきました。初めて見る球根に釘付けです。「何色かな?」「どんな形?」「つるつるかな?ざらざらかな?」等と問うと、来年幼稚園に行くお兄さんチームは「これは白いね」「紫色」「半分白で、半分紫色」「つるつる!」と、言葉にして答えてくれました。0~2歳チームも不思議そうに球根を見つめ、様々なことを考えているようでした。きっとお兄さんチーム

		<p>-----</p> <p>先週のヒヤシンスの様子はどうだったかな？というやや漠然とした質問に、3歳Zくんは「足が長くなってた！」とお返事。しっかりと覚えていた様です。箱の蓋を開けた瞬間、2歳のHくんも、下の方(=根っこ付近)に視線を落とし、どんな変化があるのかを予測しながら参加していたことが分かります。1週間経ってどうなっているのかな？とわくわくする様子が伝わります。Hくんは、花瓶の根の付近を指さしながら目を丸くして興奮した様子で訴えてくれました。「下につくくらい長いよ！」という発見もありました。今後の成長を知る為に、「ひやしんす」という絵本を読みました。ただ黙って聞くだけではなく、なるべく対話しながら読むようにしました(ダイアロジックリーディング)</p> <p>芽が出てくるのが楽しみですね。</p>
4	12/4	<p>春といえば、お花が咲く季節。先生が大好きなお花といえば...「ヒヤシンス！」がすっかり定着した子どもたち。暗いお部屋で休んでいるヒヤシンス、今日はどんな姿が見られるでしょうか。</p> <p>5つのヒヤシンスを机に並べ、みんなで観察しました。</p> <p>これは〇〇の。これは△△のだね！</p> <p>色が違うね。ぼくのは白、これはちょっと紫。</p> <p>気がついたら様子を、それぞれ言葉にして教えてくれました。</p> <p>この根っこは長いね！あれ？球根の上から、何かが出てきてる！？</p> <p>球根の小さな変化に気がつきました。</p> <p>水耕栽培を開始してから約1ヶ月、球根から小さな芽が出てきました</p> <p>大人も子どももなんだか嬉しい気持ちです。</p> <p>芽がもう少し伸びてくるまで、ヒヤシンスは暗いお部屋でお休みです。</p> <p>みんなで「きれいになーれ！」と声をかけて、蓋を被せました。</p> <p>-----</p>

		<p>過去3回のプログラムをお風邪などでお休みしていたAさんと、入園したての2人が初参加でした。</p> <p>前回から2週間あったこともあり、当初の球根の様子を写真で振り返るところからスタート。1ヶ月が経過し、いきいきと伸びる根が生え、小さな芽が顔を出し、着実に形を変えて進化しているヒヤシンスの様子を、とても興味深気に観察した子どもたちでした。</p> <p>全員で観察できる様、テーブルに5つの花瓶を並べました。球根に毒性があることから「さわらないよ。みるだけだよ。」をお約束して観察に挑戦。約束を守れる子たちもちろんいましたが、とはいえ、やはり触りたい子どもたちです。五感で楽しむのであれば、本来触覚は欠かせないものですが、なかなか難しいところです。</p> <p>思う存分触ってOKな物・環境・時間を確保できると、探究活動はさらに深まると感じます。次回のプログラムテーマに活かします。</p>
5	12/11	<p>レッスンが始まる前から「今日はヒヤシンスみるのー！？」とワクワクの子どもたち！</p> <p>先週のヒヤシンスはどんな様子だったか覚えてる？と問うと、</p> <p>「足がたっくん生えてた！」</p> <p>「足は白かった！」</p> <p>「長くてもじゃもじゃ〜！」</p> <p>足は「根っこ」</p> <p>花瓶の中で元気いっぱい伸びています。</p> <p>先週のヒヤシンスの頭はどうなっていたか覚えてる？と問うと、</p> <p>「め！！！！」</p> <p>「芽が出た！」</p> <p>と、教えてくれました🌱👩👧</p> <p>「芽は白かったね」</p> <p>「小さかったね」</p>

と思い出す子どもたち。

「今週はどうなったと思う？」と問うと、

「ピンクになってる！」

「青くなってる！」

さてさてどうなっているでしょう...

ジャン 🌸

「芽が大きくなったね！」

「色が黄色になったよ」

「これはぼくの」

「これは小さいね、これは大きいね」

言葉で表現したり、じっくり見てから指差したり。

先週の様子や隣のヒヤシンスと比較しながら、おもしろおもしろに観察しました。

12月いっぱいはい暗いお部屋で過ごします。「きれいになあれ」と声をかけ、蓋をして見送りま
した。


また来週、楽しみですね 🌸

ヒヤシンスの球根には毒性があることから、当初から「さわりません」「見るだけよ」と、子ども
ちとお約束をしています。

スタートから1ヶ月、そのルールが身につけてきた子どもたちは、しっかりと約束を守り「寸
止め」で観察を楽しむことができました。

先にルールを伝えることで、1歳さん、2歳さんも約束を守れる子が増えています。

とはいえ、球根は「不思議の塊」なので、思わず「触りたい」と感じるのは自然なことです。そ
の気持ちも認めながら、ルールを伝え続けていきたいです。

6	12/19	<p>ヒヤシンスの状況が気になって仕方がない子どもたち。</p> <p>開始早々「ヒヤシンスどうなったかな？」とわくわくです。</p> <p>先週はどんな感じだったっけ？</p> <p>どうなっているとおもう？</p> <p>と問い、みんなそれぞれの想像しながら「こんにちは～」と蓋を開けました。</p> <p>5つ並んだヒヤシンス </p> <p>「これは芽が出てないね！」</p> <p>「これは小さいね！」</p> <p>「これは根っこがいっぱいじゃないね！」</p> <p>じっくり観察すると、子どもたちは気づきでいっぱいです。</p> <p>みんな同じお部屋で過ごしているけど、芽の伸び方が違います。</p> <p>子どもたちと同じように、それぞれのペースですくすく成長していますね。</p> <p>これまでは暗いお部屋で過ごしていましたが、これからは明るいお部屋に出すことにしました 😊</p> <p>-----</p> <p>園内の図鑑だけでなく、お散歩中に見かける草花や、木々の葉の変化を五感と言葉で触れて来た子どもたち。興味は感じていましたが、果たして初めて出会う「ヒヤシンス」にどれだけ興味を持ってくれるかは未知数でした。ふたを開けてみると、みんながとても高い関心を持ってくれているように感じます。</p> <p>5つのヒヤシンスの変化について、言葉で一生懸命に詳しく表現してくれる様子が見られます。3歳組だけでなく、1～2歳さんにとっても、それぞれの発達状況に応じた言葉や反応を引き出す問いかけをしていきたいです。</p>
7	1/9	<p>子どもたちの興味関心に応じた探究活動を支援する「とうきょうすくわくプログラム」7回目！冬休み明け最初の観察です。</p> <p>年末から暗いお部屋から出し、いつも玄関で子どもたちを出迎え見送ってくれている、ヒヤシンス。</p> <p>今日も5つならべて観察です！</p> <p>「今日はどんな様子かな？」</p> <p>気づいたことを言葉にするのがとても上手になってきた3歳さんチームは</p>

		<p>芽が緑色！ われてきてるね！ これはわれていないね！ これからお花が咲くのかな？</p> <p>などなど、さまざまな様子を教えてくださいました。</p> <p>1、2歳さんも、指差ししながらじっと観察。</p> <p>順番で見る、待つ姿もとても素敵でした 🌸👧</p> <p>この後の成長もとても楽しみです！</p> <p>----</p> <p>今年度のすくわくプログラムは折り返し地点となりました。ヒヤシンスが暗い部屋から出てきて以降、子どもたちはヒヤシンスの成長を毎日見守ってくれています。</p> <p>単に見るだけではつまらなくなってきたので、もう少し五感を刺激する活動を入れたいと思います。</p>
8	1/16	<p>子どもたちの興味関心に応じた探究活動を支援する「とうきょうすくわくプログラム」8回目！</p> <p>ヒヤシンスの様子にまた大きな変化が現れました！</p> <p>「観察してみよう！」と集まると、</p> <p>これはながいね？ つんつんしている！ われてきてるね！</p> <p>と、比較しながら気がついて、言葉にしてくれた子どもたち。 1、2歳さんも、じっくりみつめ、指さしをして、驚きや発見を表現しているようでした。</p> <p>いくつかのヒヤシンスは、くっついていた葉と葉の間が開き、割れているように見えます。</p> <p>「中には何が入っていると思う？」</p> <p>と問うと、</p> <p>おまめ！ 🍓</p> <p>と、元気なお返事が！</p>

		<p>確かに、お豆みたいに細かい何かがたくさん詰まっているように見えます。大発見！</p> <p>これからもどんどん形を変えて成長していくヒヤシンス🌸 どんな変化が見られるか、楽しみです！</p>
9	1/22	<p>子どもたちの興味関心に応じた探究活動を支援する「とうきょうすくわくプログラム」9回目！</p> <p>葉と葉の重なりが徐々に開いてきたヒヤシンス🌸</p> <p>「どんな様子かな？」と問うと、</p> <p>緑色のお花の赤ちゃんが顔を出していることに、気が付きました🌟</p> <p>「お花が咲くと、とても良いにおいがするんだって。においはするかな？」と問い、手であおいでにおいを嗅ぐ仕草を提示すると、</p> <p>手の動きを真似っこしたり、鼻を近づけにおいを調べてくれた子どもたちでした。注意深く、そのようすを見守る子もいました。</p> <p>子どもも大人もおいを調べてみましたが、よくわかりませんでした。</p> <p>「これからどんな香りがしてくると思う？」と問うと、</p> <p>むらさきいろのにおい！ ブルーベリーとか、ぶどう！ あんこかな～！</p> <p>と、夢が膨らみます。</p> <p>「きれいになーれ！」 と、みんなで元気に声をかけました🌸</p>
10	2/6	<p>子どもたちの興味関心に応じた探究活動を支援する「とうきょうすくわくプログラム」10回目！</p> <p>2週間ぶりの活動となりました。 ヒヤシンスはすくすく成長し、お花や蕾が見えるものもあります。ゆっくりと葉っぱの中で準備をしているものもあります。みんなそれぞれのペースです。</p> <p>今日は「におい」をテーマに活動しました。</p> <p>顔を近づけて手で仰ぐ動作をすると、みんな上手に真似っこすることができました。</p> <p>においはするかな？と問うと、</p>

		<p>「これはするけど、これはしない」 どれが1番においがするかな？ みんなでおいくらべです。</p> <p>どんなにおいがした？と問うと、</p> <p>「いいにおい！」 「あまいにおい！」 「お花のにおい！」 「カレーのにおい！」</p> <p>さまざまな意見が出てきました。</p> <p>「におい」という新しい楽しみが増え、これからますます目が離せないヒヤシンスです 🌸</p>
11	2/13	<p>子どもたちの興味関心に応じた探究活動を支援する「とうきょうすくわくプログラム」11回目！</p> <p>日増しに個性が輝くヒヤシンス 🌸 同じ日に育てはじめましたが、それぞれ様子が違います。</p> <p>「ひとつ、びよーん！と伸びているのがあるよ！」と気がついた子どもたち。</p> <p>「天井までのびちゃうかもね！！」とわくわくです。</p> <p>「これとこれは、葉っぱが閉じてるね！」と気づいた子に、</p> <p>中は何が入ってるだろうね？と問うと</p> <p>やはり「お豆 🍲！！」とのことでした 😊 葉が開く日が楽しみですね。</p> <p>同じお水もらい、同じお部屋で過ごしていますが、成長はみんなそれぞれです。</p> <p>今日もみんなで「きれいになーれ！」と、声をかけました。</p>
12	2/20	<p>子どもたちの興味関心に応じた探究活動を支援する「とうきょうすくわくプログラム」12回目！</p> <p>教室の玄関に入った瞬間、立ち込めるヒヤシンスの香りに気がつきました。すらりと伸びた茎に、立派な白いお花が咲いています。</p> <p>今日はみんなで香りを楽しみました。</p>

		<p>「どんなにおい？」と聞いてみると...</p> <p>いいにおい！ くさいにおい！ お花のにおい！ インドカレーのにおい！🍛</p> <p>と、子どもたち。 なかなか主張が強いにおいなので、カレーのスパイスと結びつける発想💡おもしろいですね！</p> <p>1、2歳さんも、手で仰ぐ動作をしながら、ちょっと顔をしかめたり、間近でお花をじっと見つめていました。</p> <p>葉っぱの根元を観察していると...</p> <p>「まだ下にヒヤシンスになっていないところがあるよ～！」</p> <p>と発見したKくん。これから咲こうとしているお花が準備しているので、これからどんどん賑やかになりそうです。</p> <p>別のヒヤシンスたちと比較していると...</p> <p>「赤くなってる！」</p> <p>と気がついたAくん。茎は伸びていないけれど、葉っぱの間に赤く色づいたつぼみをみつけて教えてくれました。</p> <p>今日もさまざまな気づきを言葉にして教えてくれた子どもたちでした。</p> <p>最後にみんなで、ぐーんと伸びたヒヤシンス🌸ポーズをして、「きれいになあれ」と声をかけました。</p>
13	2/27	<p>子どもたちの興味関心に応じた探究活動を支援する「とうきょうすくわくプログラム」13回目！</p> <p>ついに5つ全てのヒヤシンスが咲きました🌸先週の様子から急成長。 「一体何色のお花が咲くのかな」と今か今かと見守ってきたみんなに、ついにその時がやってきたのです！</p> <p>まず初めに、みんなで色を確認しました。</p> <p>「何色のお花があるかな？」と問うと、</p> <p>紫がふたつあるよ ひとつは大きいね</p>

		<p>ひとつは小さいね 赤はまだ小さいね 黄色！みどり？ これは白？ 白には茶色もあるね！</p> <p>などなど、気づいたことを言葉にしてくれる子どもたちでした。 1歳さんも、目線で積極的に訴えてくれました。</p> <p>白のお花は、先週は全部白かったけれど、半分くらいが茶色くなりました。</p> <p>「どうしてだろう？」と問うと、</p> <p>どうしてだろう？ 分からない</p> <p>と、子どもたち。</p> <p>お花は十分に咲いたら枯れていきます。おしまいになることを伝えました。</p> <p>子どもたちは少しびっくりした様子でしたが、「そうなんだね」と、大人が思うよりとてもフラットに受け取っている様子でした。(私はおもわず「枯れるのはさみしいな」と思ってしまいます)</p> <p>最後に、ヒヤシンスみたいにぐーんと伸びるポーズをして、今日の活動を終わりました。</p>
14	3/6	<p>子どもたちの興味関心に応じた探究活動を支援する「とうきょうすくわくプログラム」14回目！</p> <p>今日もヒヤシンスを観察します。</p> <p>元気に咲いている青ヒヤシンス 先週よりも背が伸びた黄ヒヤシンス 赤ヒヤシンスは少し元気がありません 白ヒヤシンスはなんと、茶ヒヤシンスに変身しました！</p> <p>「お花は十分咲いたらどうなると思う？」と改めて問いながら、お花は枯れること、終わりになることを伝えました。</p> <p>すっかり茶色くなった白ヒヤシンスの花の根元を観察すると、少しぷっくりしています。</p> <p>「ここには何が入っていると思う？」と問うと、</p> <p>お豆！ 🍲</p> <p>と元気なお返事 😊</p>

		<p>ここはこれからタネができるところ。 タネは球根の赤ちゃんです。</p> <p>花が終わっても、これからまた次の楽しみが待っていますね ✨</p>
15	3/13	<p>子どもたちの興味関心に応じた探究活動を支援する「とうきょうすくわくプログラム」15回目！今年度最後の活動となりました。</p> <p>机にヒヤシンスを並べ、 「みんな、においはするかな？」と問いかけると</p> <p>「しな—い！」と子どもたち。</p> <p>花の終わりとともに、香りも少しずつ消えていきました。</p> <p>花は終わりますが、球根は元気です 🍌 ハリのある球根から長く伸びた根っこを見せると、子どもたちからは「わあ————！」と、驚きの声が上がりました。</p> <p>花を切り、葉だけ残して、これからは土のおうちにお引越しをすることにしました。</p> <p>太陽の光を浴びて、葉で作られた栄養は球根に運ばれます。そして、また来年きれいな花を咲かせる準備をするそうです。</p> <p>来年も咲くかな？咲くといいですね！</p> <p>ヒヤシンスはこれから、土のおうちからみんなのことは見守ってくれます 🌱</p>

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気付き>

15回の活動を通して、子どもたちはヒヤシンスの変化を五感で感じ取り、それぞれの言葉や仕草で表現してきました。

特に2～3歳児は「先週と違う」「長くなった」など、変化に気づき、それを言葉にして伝えることを楽しむ姿が多く見られました。また、「次はどうなるかな？」と予想する姿も見られるようになりました。

0～1歳児も、花や根をじっと見つめたり、指さしをしたりと、自分なりの方法で発見を伝えようとする姿がありました。

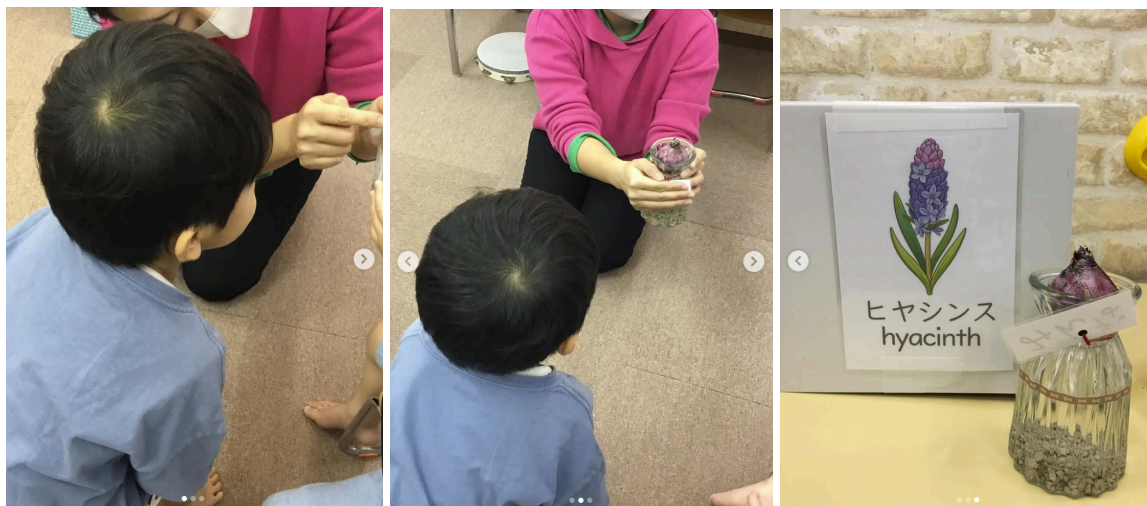
保育者はそれらの気づきや思いを受け止め、言葉にならない部分を代弁しながら対話を重ねてきました。ヒヤシンスとともに成長したこの5か月間は、子どもたちが「感じたことを伝えたい」という気持ちや、「伝わる嬉しさ」を経験する機会になったと感じています。

<活動の様子が分かる写真>

2025/11/7(金)



2025/11/14(金)



2025/11/20(木)



2025/12/5(金)



2025/12/5(金)



2025/12/19(金)



2026/1/9(金)



2026/1/16(金)



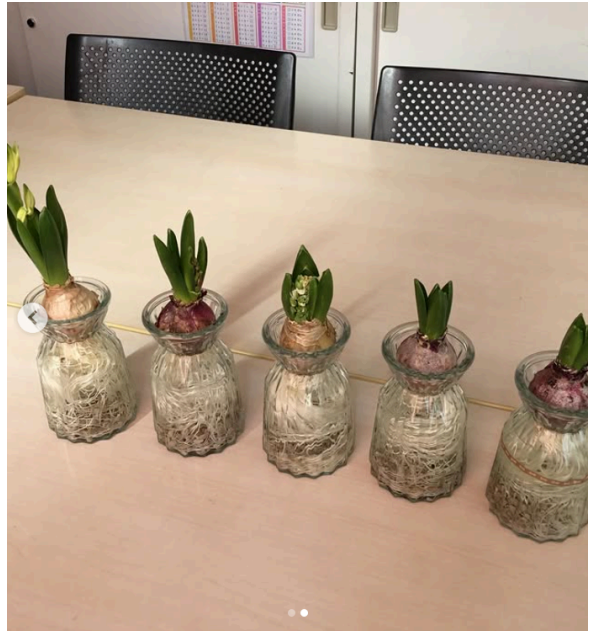
2026/1/22(金)



2026/2/6(金)



2026/2/13(金)



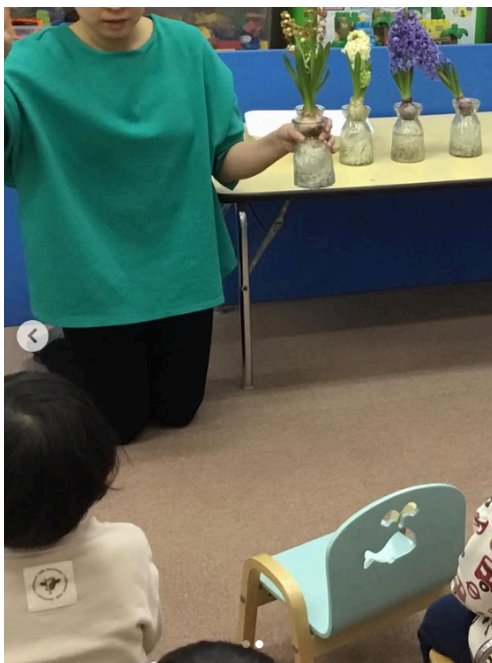
2026/2/20(金)



2026/2/27(金)



2026/3/6(金)



2026/3/13(金)

